

シラバス情報

授業方法	講義 ・ 実験 ・ 実習		
系 列	工作作業		
科 目 名	手仕上げ工作・機械工作		
必修・選択	必修科目 ・ 選択科目		
対象学科	一級自動車整備科		
年次学期・曜日・時限	3年後期	・ 木曜日	・ 1 時限～8 時限
時 限 数	7.6時限（期末試験を除く）		
担当教員名	井浦 猛		
実務経験	有 ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、整備作業に使用する各種工作機器の取扱いについて実習を実施する。		
授業の目的	電動式、エア式、油圧式等の小型の各種作業用機器及び工作機器並びに溶接機等を安全に使用できるようになるための実習を行う。		
テキスト	①基礎自動車整備作業（日本自動車整備振興会連合会 発行）		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第 1 回	工作作業	各種電動ツール、エアツール、工作機器等を使用した機械工作及び補修技術	①P25-38
	期末試験	実技試験	
到達目標	各種小型作業用機器及び工作機器並びに溶接機等の取扱方法を学び、安全を意識した作業が行えるようになる。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。		

成績評価基準	成績評価は、期末試験の点数が50点以上を満了した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。 期末試験の点数 80 % 平常点 20 % 上記の割合によって学期末の評点が70点以上である場合、以下により評価する。 70～79点＝良、80～89点＝優、90点以上＝秀 70点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで70点以上のとき履修を認定し、成績は70点＝良とする。
成績評価できない 場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満了していない場合、又は、成績評価が70点未満の場合。